



風かおる  
人が輝き  
躍動するまち

# とままえ

# 9

No. 661



## まちひと百景

### 夏の楽しい思い出づくり

とままえGENKid'sキャンプが8月10・11日の両日、とままえ夕陽ヶ丘未来港公園で開催、町内の小学生2年生から6年生21名の児童を対象にテントに泊まったり、農業・漁業体験をしたりするなど互いに交流を深めた。

農業体験ではミニトマトの収穫を、漁業体験では磯ガニ釣りや魚介類の観察などをした。あっと言う間の2日間だったが、子供たちにとっては、貴重な夏休みの思い出になったようである。

- 農協夕市ほか… 2
- 町民ソフトボール大会ほか… 3
- 新しい英語指導助手ベンジャミンほか… 4
- ふるさと祭りほか… 5
- 国民年金・にこにこタクシー… 6
- 健康ばんざい… 7
- 学びの広場… 8
- 介護保険ガイド… 9
- 住まいる情報… 10～11
- ちびっ子ギャラリー… 12

### まちの人口

人口/3,264人 (男/1,556人 : 女/1,708人)  
世帯数/1,587世帯 (8月31日現在)

## 雨にあたらずホッとした！～JA 苫前町青年部主催の農協夕市～

7月30日(土)にJA 苫前町青年部主催の農協夕市が苫前町公民館駐車場で開催され、多くの人で賑わった。天候は曇りだったが、雨に当たらず開催することができた。

ステージイベントやもちまきなどが行われる中、家族連れなどが飲食を楽しんだ。また、恒例のお楽しみ大抽選会では、キャンプ用品や高価な炊飯器などがあり、サプライズとしてお米(ななつぼし)90キログラムが無料配付され、会場は一番の盛り上がりを見せていた。

同青年部の村上和也部長が「今年も盛況に終わることができました」と最後に挨拶をし閉会した。



## 劇団東京乾電池創立40周年記念公演「ただの自転車屋」

8月4日(木)公民館においてとままえ舞台鑑賞友の会、苫前町、苫前町教育委員会、北海道新聞社、財団法人北海道演劇財団主催による「ただの自転車屋」が公演され、304名の来場があり終始笑いに包まれた。

出演は、柄本明さん、ベングルさん、綾田俊樹さん、山地健仁さんの4人。1976年に柄本さんとベングルさん、綾田さんの3人で結成した劇団東京乾電池が今年40周年を迎えるにあたり、記念公演として上演されているもの。

この「ただの自転車」は脚本が北村想さんの作品で、とある民宿の2階でおこる物語。鹿児島県の離島の町で映画監督、脚本家、俳優が次回作のシナリオを書くためある民宿の2階で滞在することとなったが、猛暑によりエアコンを使用するにも使用できず、修理屋を呼んで修理をする様子コミカルに描いた作品である。



絶妙な4人のやりとりやしぐさに観客を笑いの渦に誘っていた。

公演終了後、カーテンコールで柄本さんは「本日は大勢の皆様にご覧に来ていただきましてありがとうございます。」と挨拶した。

東京乾電池が創立40周年を迎えるにあたり、北村先生が書き下ろしをしていただいた作品です。いいかどうかよくわからない作品だったかもしれませんが、これからのいい作品を届けたいと思っております」と話し、会場から大きな拍手を受けていた。

## 審査委員も悩むほどの難しい審査に～平成28年度(第63回)苫前町乳牛共進会～



8月5日(金)に上平共同利用模範牧場で平成28年度(第63回)苫前町乳牛共進会が開催され、町内の酪農家9戸3団体が自慢の乳牛38頭を出陳した。

冒頭の挨拶で小澤副町長、阿部俊一町議会会議長は「本日の共進会に向けてギリギリの所まで仕上げたこられたと思います。今後の道北大会や全道大会でも良い成績を残せる良質な乳牛が出ることを期待しています」と挨拶し審査が始まった。

審査は未経産牛・経産牛それぞれ4部門に分け、体貌と骨格、肢

蹄、乳器など総合的なバランスがとれているかを判断した。本年は良い乳牛が多く出陳され、審査員も頭を悩ませていたようだ。

今回の結果は次のとおり。

各 部	名 号	出 陳 者
第1部未経産牛(6ヶ月～12ヶ月未満)	クレスト アイオン オブ ディーバ	中 嶋 卓 広
第2部未経産牛(10ヶ月～12ヶ月未満)	プラスパーランド コントラスト バリアント	工 藤 主 税
第3部未経産牛(12ヶ月～14ヶ月未満)	クレスト マウイ ミンクガール ET	中 嶋 卓 広
第4部未経産牛(14ヶ月～18ヶ月未満)	マスタッシュ モントレー ターマツク ET	村 本 電 明
第5部経産牛(18ヶ月～22ヶ月未満)	プラスパーランド バーンデイ キュート ET	工 藤 主 税
第6部経産牛(36ヶ月未満)	ガラント スパークリング ウインド	中 嶋 めぐみ
第7部経産牛(36ヶ月～48ヶ月未満)	TDC ドリユー メンバース	苫前町デイレークラブ
第8部経産牛(48ヶ月以上)	グリーデイミル デイストライ デラップ	グリーデイミルクラブ
最高位賞(未経産牛の部)	クレスト マウイ ミンクガール ET	中 嶋 卓 広
最高位賞(経産牛の部)	TDC ドリユー メンバース	苫前町デイレークラブ
ベストプロダクション賞	フォーカスト グッドスブラッシュ	丹 羽 秀 樹
ベストプロダクション賞	ウィング シークレット ヒル ウィン	伊 藤 雅 史

## 負けられない熱い戦いに！～町民ソフトボール大会～



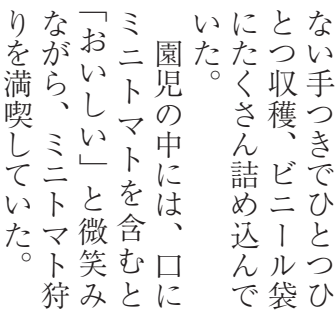
8月7日(日)町野球場と古丹別中学校のグラウンドにおいて、町民ソフトボール大会が町内から8チーム114名が参加し開催された。

町民の健康づくりや世代間交流などをねらいに町スポーツセンターが主催して37回目を数える。

女性やシニアの参加にはハンデをつけるなどの特別ルールで実施したが、60歳以上で構成された新生トリプルパワーズが加わり大会は大いに盛り上がった。

決勝はパブリック橋場とチーム幸寿園が対戦し、9対9の引き分け、最後はじゃんけんでパブリック橋場が優勝した。

## ミニトマトおいしいね！～花井秀昭さんが両保育園(所)園児をミニトマト狩りに招待～



7月21日(木)古丹別保育園(川森のり子所長)の園児と、8月8日(月)昔前保育園(青木久美子園長)の園児が、岩見で農業を営んでいる花井秀昭さんのビニールハウスに招待されミニトマト狩りを体験した。

最初に花井さんからミニトマトのもぎ方の指導を受けた後に、トマト狩りがスタートした。真っ赤に染まったミニトマトは、慣れない手つきでひとつひとつ収穫、ビニール袋にたくさん詰め込んでいた。

園児の中には、口にミニトマトを含むと「おいしい」と微笑みながら、ミニトマト狩りを満喫していた。



## 公民館ロビー作品展「名畑睦美氏水彩画」～消えゆく昭和の記憶 今蘇る～



8月8日(月)から8月19日(金)まで12日間、公民館ロビーで昔前在住の名畑睦美さんによる「水彩画作品展」が開催された。

この作品展は終戦間もない昭和二十年代のセピア色した古い写真の中から、名畑さんの幼い記憶をたどり「古丹別地域の古い建物と人々の生活」をテーマにスケッチしたもの。

作品には、古丹別駅、雪印古丹別工場、酒屋や商店街など当時を忍ばせるお店や風景を紹介している。

来館者は当時の面影を懐かしく思い、古丹別地区の歴史を振り返りながら熱心に見入っていた。

## とままえGENKid'sを開催～参加者も大満足～



「とままえGENKid's」が8月10、11日の両日、とままえ夕陽ヶ丘未来港公園でキャンプをしながら磯カニ釣りやミニトマトの収穫作業などを体験した。

この企画は子供たちに、マチの基幹産業の農漁業に触れ、ふるさとへの誇りと愛着を持つてもらうことを目的に、町内の農漁業、商工会青年部などで組織する実行委員会(小笠原宏一実行委員長)が実施した。

6月下旬から、宿泊場所の確保や受け入れ期間中の子ども達の食事や体験事業の内容を準備してきた。

当日は昔前、古丹別の小学校2年生から6年生までの21名の児童が参加した。



1日目は、同公園にテントを設営し、近くでカニ釣りなどを行った。夕食は魚介類たっぷりのバーベキューを堪能し花火を楽しんだ。

2日目は、野菜たっぷりのなシーフードカレーで朝食をとったあと、町内岩見の今光さんのビニールハウスでミニトマトの収穫体験を行い、真っ赤なトマトを味わっては「おいしい」とニッコリ。

収穫体験後は、同公園に戻って水鉄砲遊びをしてテントを片付け、昼食後に解散した。

## 新しい英語指導助手は日本語が上手！～8月に着任したヌウィン・ベンジャミンさん～



これまで町内の小中学校・高校等で英語指導を行う英語指導助手のハイル・トーマス・ケンタロウKさんに代わり、ヌウィン・ベンジャミンさんが7月25日付けで着任した。

ベンジャミンさんは、アメリカのカリフォルニア州のファウンテンバレー出身でゲーム遊びやプラモデルづくり、アニメ鑑賞が趣味の21歳の青年。カリフォルニア大学アーバイン校を卒業、日本語は高校から大学卒業までの8年間を勉強していたということもあり、とても日本語が上手でほしい言葉は理解できる。

ベンジャミンさんは苫前町の第一印象を「リラックスできるまち」、「人が優しいまち」と感じたとのこと。また、これから本町の小学校から高校まで巡回し指導していくうえで児童・生徒に対しては、「すでに英語指導助手の仕事を経験してみて、子ども達はとても元気いっぱいなので英語を教えるのは問題ない。ぜひアメリカの文化を教えたいのと、自分はベトナム系アメリカ人なのでベトナムの話もしてみたい」と述べた。

さらに、日本にいる期間中に「まつりに参加してみたい」、「釣りやスキーをしてみたい」など日本での生活を楽しまたいと期待に胸を躍らせているようだった。

ベンジャミンさんは日本での生活について、今は不便さを感じていないが、車がないので移動や荷物の運搬などが大変と話していた。まだ苫前で生活に慣れていないことも多いので、皆さんもまちで見かけたらやさしい一言をかけてあげてください。

### ベンジャミンさんのプロフィール

国籍：アメリカ  
(ファウンテンバレー)

生年月日：1994.9.14(21歳)

好きな食べ物：すし・とんかつ・焼き肉

苦手な食べ物：漬物・トマト・ナス

## オーストラリア短期留学から帰国～森町長に帰国報告～

8月17日(水)国際交流事業で海外短期留学を終えた苫前商業高等学校(金子義之校長)3年生の前田智哉さんと桜井美玖さんが、役場を訪れ森町長に帰国報告を行った。

同校では国際交流事業の一環で国際人としての基礎を養い、資質を高めることがねらいで2人はオーストラリアのケアンズにそれぞれホームステイしていた。

2人とも、「食文化の違いはあるけど、ホストファミリーが温かく楽しくすごせた」と話し、森町長は「この経験を将来に向けて活かしてほしい」と笑顔で話していた。



## 岡田裕幹氏に教育功労表彰



前教育委員長で昨年9月に退任した苫前在住の岡田裕幹さんに8月23日(火)に全国市町村教育委員会連合会教育功労者表彰と北海道町村教育委員会連合会教育功労者表彰が花井秀昭教育委員長から伝達された。

岡田前教育委員長は、平成3年から24年間にわたり教育委員として努め、そのうち19年間は教育委員長として本町教育行政の発展に貢献されたことが認められたもの。岡田さんは「いろいろなことがあったが、長島町との交流事業が印象に残った。これからも影ながら応援していきたい」と述べた。

## 「大きくなって帰ってきてね！」～町内保育園児がヒラメを放流～

8月25日(木)にたまえ漁港において、苫前保育園、古丹別保育所の園児によるヒラメの稚魚300匹が放流された。

ヒラメは、羽幌の道栽培漁業振興公社羽幌事業所(ヒラメセンター)で今春に採卵ふ化し育成されたもの。

体長は5センチ程度で放流からおおよそ3年で50センチ程度に成長する。小澤副町長は「水槽から今度は広い海で大きく成長します。苫前に戻って来られるよう祈って放流しましょう」と挨拶した。

園児らは小さいバケツに入った稚魚に「大きくなって帰ってきてね」と願いを込めて、丁寧に放流をしていた。





## 悲しみはいつまでも癒えることはない～戦没者追悼式～



8月19日(金)とままえ温泉ふわっとホールで平成28年度戦没者追悼式が遺族・来賓などあわせて約50名が参加し挙行された。町戦没者追悼式実行委員会実行委員長の森町長は「戦争の記憶は、71年経過した今日でも深く記憶に刻まれており、決して風化させてはいけない。戦後飛躍的に発展したこの国を支えた先人の精神を引き継ぎ、恒久平和へ向けみんなで知恵をだしていかなければならない」と式辞を述べた。苫前町議会の阿部俊一議長や北海道知事、北海道連合遺族会長、町遺族会長からの追悼のことは、その後、遺族・来賓等が1人ひとり献花を行い、ご冥福を祈った。

## 地域社会貢献事業

まちの施設を整備していただきました

### 北海道風車まつり・エビ籠オーナーへの協力・ヒラメ放流式に参加する保育園児の送迎バスの提供～三協建設株式会社～

苫前漁港海岸高潮対策工事外を実施の留萌市の三協建設株式会社(堀松秀樹代表取締役)が北海道風車まつり・エビ籠オーナーin苫前への協力を地域社会貢献事業として実施した。

7月24日(日)の当日に使用する発電機やセーフティコーン、また当日の運営にも協力をいただきました。お陰でイベントもスムーズに進めることができました。

ありがとうございました。



苫前漁港海岸高潮対策工事外を実施の留萌市の三協建設株式会社(堀松秀樹代表取締役)が8月25日(木)実施のヒラメ放流式に参加する苫前保育園・古丹別保育所の園児を送迎するためのバスの提供を地域社会貢献事業として実施した。

お陰で園児達も無事に参加、体長約5センチ程度に成長したヒラメを放流することができ、北るもい漁協冷蔵庫や港の見学などもすることができました。

ありがとうございました。

マイプランをしっかりと国民年金  
「国民年金保険料の納め忘れはごいけませんか」



便利な口座振替やクレジットカード納付を御利用ください。

国民年金保険料は、日本年金機構から送付される納付書によって、各金融機関やコンビニエンスストアで納付することができます。納付書払いのほか、とても便利な口座振替やクレジットカードによる納付の方法もあります。一度お手続きしていただければ、毎月納付のために金融機関等に行く必要がなく、納め忘れてしまうこともありません。また、口座振替を利用いただいて、まとめて納付することにより、納付書払いよりも保険料額がお得になる方法もありますので、ぜひ御利用ください！

※平成28年度分の6か月・1年・2年前納の口座振替  
替申込は終了しており、平成29年度分からになります。

申込みは用紙をホームページからダウンロードしていただくか、年金事務所・役場・金融機関に備えつけ

のものを使用してください。

お支払いが困難な場合は、そのままにせず免除等の申請を！

収入の減少などにより年金保険料を納めることが困難な場合は、まずは年金事務所にご相談ください。未納のまま放置してしまうと、将来年金を受け取ることができなくなってしまうかもしれません。

免除等の申請をしていただき、収入等の条件により免除額が変わりますが、認められれば、免除期間は将来年金を受け取るために必要な期間に含まれますので、将来年金を受け取ることができない事態を避けることができます。お手数でも将来のためにまずは御相談ください。

免除等した期間の保険料は、収入が安定した後10年間までさかのぼって納付することもできます（追納制度）。追納した場合は、将来受け取る年金額に反映されます。

出張相談所も御利用ください

留萌年金事務所は毎月第2木曜日に羽幌町役場にて出張相談所を開設しております。

年金に関する御相談がありましたらご利用ください。

毎月第2木曜日（10月13日、11月10日）

時間 午前10時～午後4時（正午～午後1時を除く）

事前予約制…留萌年金事務所（☎0164-43-7211）に事前に予約をしてください。予約締切りは第1木曜日までです。

※定員になり次第、予約を締め切る場合がありますのでご了承ください。

お問合せ

留萌年金事務所 ☎0164-43-7211

苫前町税務町民課 ☎0164-64-2213

日本年金機構ホームページ

「国民年金保険料」

国民年金保険料

検索

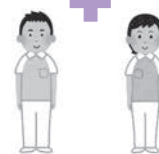


にこにこタクシーの利用について

- 介助者同乗させるためには、登録証に『介助』のゴム印があることが必須です。  
必要な方は、役場企画振興課又は古丹別支所にて手続きをしてください。
- 介助者を同乗させることができるのは、以下の場合です。
  - ① 身体障害者手帳をお持ちの方
  - ② 療育手帳をお持ちの方
  - ③ 精神障害者福祉手帳をお持ちの方
  - ④ 要介護2以上の介護認定を受けている方及び、それに類するものと町長が認めた方
  - ⑤ 満70歳以上の方で介助が必要な方
- にこにこタクシーは、苫前地区・古丹別地区各1台の車両で運行しているため、時間指定をしても多少前後することがあり、待ち時間をいただくことがあります。ご理解とご協力をお願い致します。

介助のカードをお持ちの利用

介助者（2名まで）



苫前町にこにこタクシー利用登録証に『介助』のゴム印が押してある方は、ご自身以外に2名まで介助者を同乗させることができます。

注意!

にこにこタクシーを利用する場合には、乗車する全乗員が運転手に登録証を提示することとなりますのでご注意ください。

苫前町企画振興課地方創生・人口対策係（☎0164-64-2212）